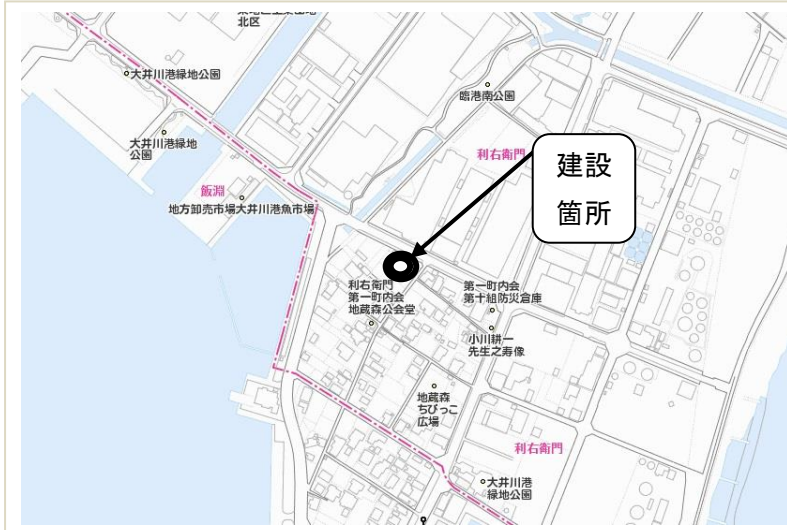


# 港が見える丘防災広場 (利右衛門・飯淵地区)



## ■概要

当市では、平成23年3月11日に起きた東日本大震災の津波被害状況を受け、津波対策を喫緊の課題と認識し、津波避難施設の整備に取り組み、平成27年度に利右衛門・飯淵地区で、津波避難ができる高台広場『港が見える丘防災広場』を整備しました。

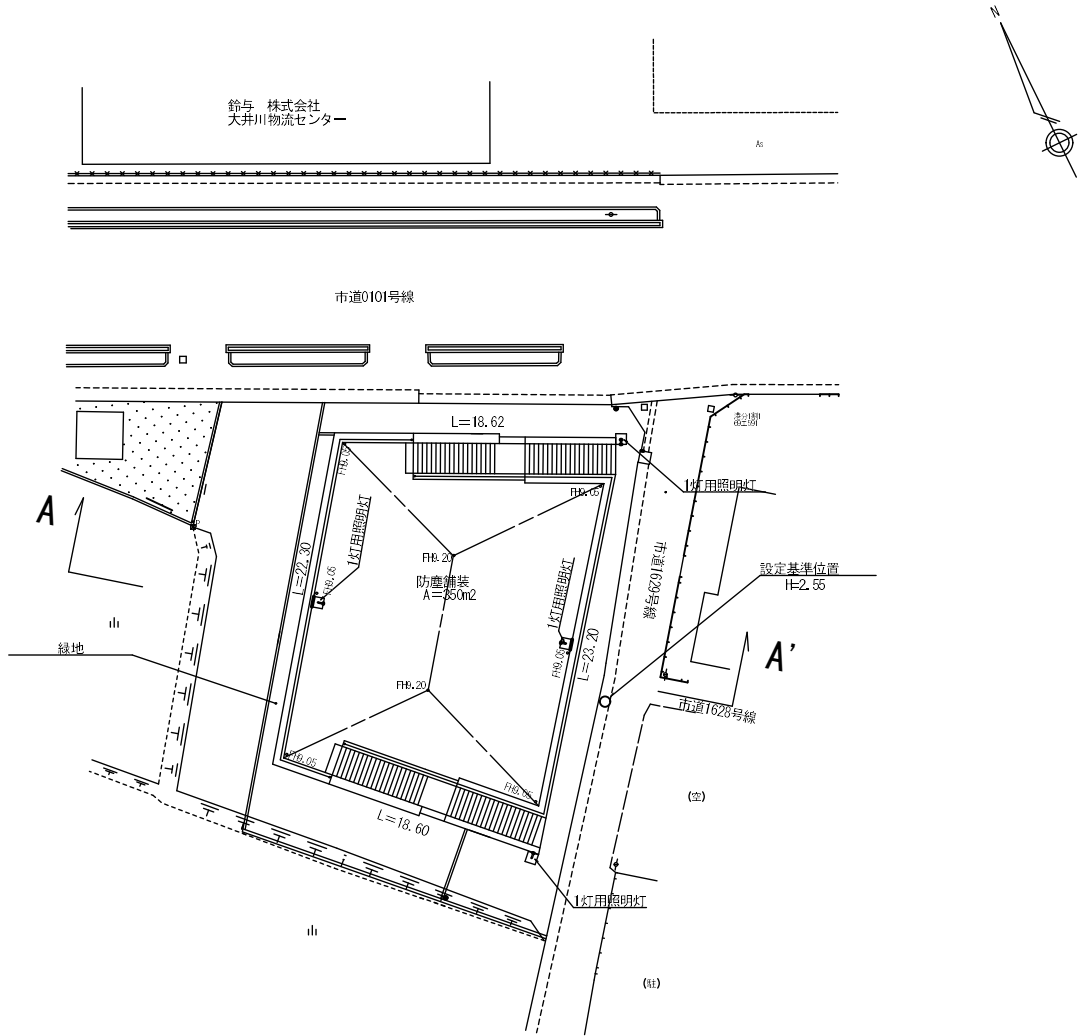


1. 建設場所 利右衛門 2657
2. 構造 土盛り+L型擁壁（鉄筋コンクリート）
3. 高さ 施設高 G.L.+6.50m（避難場所 T.P.+9.05m）
4. 面積 敷地：687.27 m<sup>2</sup> 避難場所：350 m<sup>2</sup>
5. 収容人員 350人（1 m<sup>2</sup>当り 1人）
6. 設備等 夜間時における避難活動を円滑化するため、階段及び避難ステージ上にソーラーシステム蓄電式のLED照明を設置。  
また、階段に蓄光材を設置。  
植栽：サツキ、ツツジ、シバザクラ
7. 工事費 9,113万9,040円  
（国費：4,158万9,680円、県費：346万6,000円、  
市町村振興協会：346万6,000円、市費：4,261万7,360円）
8. その他 地盤高 T.P.+2.55m  
【レベル1津波】 浸水なし  
【レベル2津波】 最大浸水深：3.08m（T.P.+5.63m）



# 港が見える丘防災広場

## 平面図



## 横断面図

### A-A' 断面

